

第1回

しましま 島に移住しました！

100%絶景の島といわれる甑島。コンビニはないが、どこにも負けない自然と人の温かさがある。甑島ツーリズム推進協議会通信では、そんな島に魅了され、移住をした人々を紹介。第1回は神奈川から移り住んだ「串焼きバルテウチ1600」の池内さん夫婦です。

湘南から移住

手打海岸前の通りから一本入った住宅街の一画。夕方になると赤提灯が灯り、辺りには串焼きのいい匂いが漂う。「串焼きバルテウチ1600」は、神奈川・湘南から移住した池内慎治さん・けやきさんが営む串焼きメインのバル（スペイン語で居酒屋のこと）だ。定番の焼き鳥や牛、豚の串の他、サイドメニュー

も多い。

仕入れによっては、ランチに島の魚介を使った海鮮料理を扱ったり、ラムやフォアグラなど、離島ではなかなかお目にかかれな

いメニューが並ぶことも。そんな珍しい食材を仕入れることができるのは、2人が移住前、それぞれ飲食店で働いていた経験があるから。島に来たのは19年2月。きっかけは「いつか離島に住みたい」という共通の夢からだ。選んだ場所は、けやきさんの祖母がかつて住んでいた甑島。幼いころに遊びに来たことがある場所だった。



▲地元で獲れた海鮮料理



▲おしゃれな外観も魅力



MAP



串焼きバル テウチ1600



HP



顔を合わせたら 「お疲れ様」

島に来て驚いたことは、知らない人でも「お疲れ様」とあいさつをすること。都会では仕事関係者の間ではかわさない言葉だ。最初は違和感があったというけやきさんだったが「今は心地いい。いろんな人が顔を合わせる」と『お疲れ様』って。みんなが何かのために働いて、お互いが何かしらつながっているんだなと感じられて『いいな』って思う」と心地よい島の雰囲気魅了された。



とりしおそば▶

所 薩摩川内市下甕町手打 1600

☎ 09969-7-0080

時 【串焼きバル・カフェ】

18:00 ~ 22:00

【ランチ】

11:30 ~ 14:00 (土日のみ)

駐 あり

休 月・火曜日

インターネット環境もあり、不便は感じていない。時間に追われていたかつての生活と比べ、余暇を楽しむ余裕もある。「島に越して来て一番変わったことは？」と尋ねると、「生活のための時間がすごくある」。趣味のサップやサーフィンに出かけると「星がきれい。数がハンパない」と声を弾ませた。

人気メニューの1つ「とりしおそば」を堪能させてもらった。あつさりとしながらも、コクがある澄んだスープ。麺をすすると思わず「うまい！」と叫んでしまった。飲んだ後の締め注文する人が多いという。ただ、これだけでも毎日食べたい。ゆったりとした時間のなかで、味わう料理。他のメニューはどうだろうと興味をそそられた。

